



2016 年度
ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞
特別賞

募集要項

日本ロレアル株式会社
(<http://www.nihon-loreal.jp/>)

後援：日本ユネスコ国内委員会
(<http://www.mext.go.jp/unesco/>)

募集概要

2016 年度「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」

趣旨

科学をはじめ教育の分野への夢と希望を多くの人々に与えるとともに、社会的発信力があり、若い女性へのロールモデルとなる個人または企業・団体・学校を表彰するものです。

対象

科学をはじめ教育の分野で実績のある個人または、次世代育成などにおいて積極的な活動を推進している個人または企業・団体・学校（※これまでの受賞者リストは、P6をご覧ください）

授与件数

選考委員会により1件選考し、賞状を贈呈します。

受付期間

2015年11月16日（月）から2016年2月29日（月）まで（締切日の消印は有効とします）

応募方法

封筒に、「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」応募書類と必ず明記の上、下記必要書類を「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」事務局 宛に郵送ください。

自薦・他薦可。他薦の場合は、推薦先の了承が必要となります。

e-mail での応募は受け付けておりません。応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

(1) 必要応募書類

応募申請書 2部

募集要項・応募申請書は、日本ロレアルホームページ <http://www.nihon-loreal.jp/> の

2016年度「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」募集開始からダウンロードできます。

(2) 書類送付先

〒163-1071 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー

日本ロレアル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部

「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」事務局 宛

(3) お問い合わせ先

fwis-japanfellowships@loreal.com

選考基準

活動の実績、着想力、創造力、独創性、先進性、継続性などを選考委員会により審査のうえ、2016年半ばまでに採否を e-mail にてご連絡します。

発表

2016年に東京で開催予定の授賞式にて発表させていただきます。

応募申請書

2016 年度「ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」

(日付) 年 月 日

①推薦者 (いずれかに○をつけてください)	自薦 他薦
②応募区分 (いずれかに○をつけてください)	個人 ・ 企業 ・ 団体 ・ 学校
③氏名 (フリガナ)	印
④連絡先	(住所) 〒 (企業名・団体名) (所属部署) (電話) (e メールアドレス)
⑤推薦する個人・企業・団体・学校の連絡先 (他薦の場合のみご記入ください。 他薦の場合は、推薦先の下承が必要となります)	(住所) 〒 (氏名・企業名・団体名・学校名) (所属部署) (電話) (e メールアドレス)

⑥活動の概要（実績、着想力、創造力、独創性、先進性、継続性などについてご記入ください）

⑦推薦理由（自薦・他薦いずれの場合も、必ず明記ください）

日本奨励賞—特別賞 歴代受賞者

受賞年	個人・企業・団体・学校名	受賞理由
2010	JAXA宇宙飛行士 山崎直子	2010年にスペースシャトル ディスカバリー号に搭乗し、宇宙科学の発展への功績と、結婚・出産を経験しながらも継続的に研究を続け、次世代のロールモデルの一人として表彰
2011	東北大学 杜の都女性研究者ハードリング支援事業「サイエンス・エンジェル」	2006年に「サイエンス・エンジェル」を創設。東北大学大学院自然科学系の10の研究科に所属する現役の女子大学院生で構成され、2011年までに延べ約230名の女子大学院生が参加。次世代の女性研究者の育成と同時に、次世代を担う小中高校生に科学の魅力を伝えることを目的とした活動を評価
2012	茨城県立水戸第二高等学校	2006年度および2011年度からそれぞれ5年間、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール指定校。2011年11月、生徒たちによる新たな科学現象「BZ反応」の発見に関する論文が権威ある米科学専門誌『The Journal of Physical Chemistry A』誌に掲載される。「次世代を担える科学的素養を備えた女性の育成」など学校全体で女性科学者の育成に取り組む姿勢と、研究を続ける生徒たちの情熱を評価
2013	該当者なし	
2014	WHO(世界保健機関) メディカルオフィサー 進藤奈邦子	600倍の難関を突破し、WHOにて日本人女性として初めて医師かつ外交官特権を持つ要職であるメディカルオフィサーに就く。SARS、トリインフルエンザ、エボラ出血熱などの感染症の流行防止策、国際援助や制圧活動など、司令塔として国際機関でリーダーシップを発揮しながら現場の最前線で活躍し、その功績を高く評価
2015	国連WFP日本大使 知花くらら	日本初の国連WFP日本大使として、国連WFP(※)の学校給食プログラムを通じて食が栄養不足の開発途上国の子どもたちの命を支え、学校へ通うきっかけとなり、教育の機会につながることを訴求する啓発活動を8年以上にわたり精力的に行っており、その功績を高く評価 ※国連WFP: WFP国連世界食糧計画

(参考)

ロレアルグループとユネスコの共同プロジェクト： 世界規模で女性科学者を支援

パリに本社を置くロレアルグループと国連専門機関のユネスコは、「世界は科学を必要とし、科学は女性を必要としている」という理念のもと、世界の女性科学者の業績を称えとともに、世界レベルでの更なる飛躍と地位向上を目的に1998年に共同で女性科学者を支援するプロジェクト「**ロレアル・ユネスコ女性科学賞**」を創設しました。これまでに**世界110カ国から2,250名以上**の女性科学者が表彰されました。

日本から**5名の女性科学者が受賞(所属:授賞時)** — 2000年に分子生物学の草分け的存在で、DNAの不連続複製「岡崎フラグメント」で知られる**岡崎恒子氏**(名古屋大学名誉教授)が、2005年にアモルファス半導体および液体金属の先駆的理論とコンピューター・シミュレーションによる解明の功績により、物理学者**米沢富美子氏**(慶応義塾大学名誉教授)が、2009年には世界で初めて単一分子性金属の設計と合成に成功し、分子性伝導体の開発研究への多大な貢献により、化学者**小林昭子氏**(日本大学文理学部化学科教授、東京大学名誉教授)が受賞しています。2013年は、分子構造の左右性の違いが自然界に広く現れる左右性(キラリティー)現象に重要であることを明らかにし、アルツハイマーなどの神経変性疾患研究など幅広い応用研究にもつなげる多大な貢献を成し遂げた化学者**黒田玲子氏**(東京理科大学総合研究機構教授、東京大学名誉教授)が受賞しています。2014年には、正常時ならびに疾患時における免疫システム内の樹状細胞の主要な役割の解明に貢献した、**稲葉カヨ氏**(京都大学理事・副学長《男女共同参画・国際・広報担当》、京都大学男女共同参画推進センター長、京都大学大学院生命科学科学研究科教授)が表彰されています。

「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」について

当奨励賞は、上記「ロレアル・ユネスコ女性科学賞」の国内賞に位置づけられます。日本の若手女性科学者が、国内の教育・研究機関で研究活動を継続できるよう奨励することを目的として、2005年に日本ロレアルが日本ユネスコ国内委員会との協力のもと創設しました。対象者は、物質科学、生命科学の分野において博士後期課程に在籍または、博士後期課程に進学する予定の女性科学者で、原則、物質科学、生命科学からそれぞれ2名(計4名)決定し、賞状と奨学金100万円が贈られます。これまでに40名の若手女性科学者が受賞しています。

※日本奨励賞については、別途「**ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞**」募集要項をご覧ください

「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞」について

2010年に、科学をはじめ教育の分野への夢と希望を多くの人々に与えるとともに、社会的発信力があり、次世代育成など、ロールモデルとなる個人または企業・団体・学校を表彰することを目的として「**ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞—特別賞**」を新設しました。

【ロレアルグループについて】

ロレアルグループは、1909年にパリで化学者によって設立され、世界130カ国・地域で事業を展開し、78,600人の従業員を有する世界最大の化粧品会社です。「ヘレナ ルビンスタイン」「ランコム」「シュウ ウエムラ」「キールズ」「イヴ・サンローラン」「ロレアル パリ」「メイベリン ニューヨーク」など32のブランドをグローバル規模で展開しています。世界中に23の研究開発拠点を有し、4,000名の研究者のうち、女性研究者の割合は70%に上ります。

日本においては、1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である**日本ロレアル株式会社**が設立されました。2,500人の従業員を擁し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、上記のブランドを含め22のブランドを取り扱っています。30年以上前から日本に研究開発拠点を置き、現在、日本ロレアル リサーチ＆イノベーションセンター(川崎市・溝の口)として、日本をはじめ、アジアの研究開発を統括しています。220名以上の研究者を有し、うち女性研究者は60%を占めています。

【ユネスコについて】

1945年に設立されたユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、本部をパリに置き、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じた国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。2014年4月現在の加盟国数は195カ国あり、また世界53カ所に地域事務所を置いて活動を展開しています。

日本では「ユネスコ活動に関する法律」に基づき、文部科学省に置かれる特別の機関として**日本ユネスコ国内委員会**が設置されています。日本ユネスコ国内委員会は、教育、科学、文化等の各分野を代表する60名以内の委員で構成され、我が国におけるユネスコ活動の基本方針の策定、ユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査等を行っています。日本ユネスコ国内委員会事務局は文部科学省に置かれ、文部科学省国際統括官が日本ユネスコ国内委員会事務総長を務めています。